

## ◇2016 年度実施の訪日教育旅行の実態とまとめ（中・高）〈抜粋〉◇

この調査は、2016（平成 28）年度に実施された中学校・高等学校の訪日教育旅行の受け入れに関するものである。

なお、調査は全国の国立・公立・私立等の中学校・高等学校を対象とし、下表の調査校を抽出し回答を依頼した。

設置者名	国立	公立	私立等	合計
全国校数	90	13,329	2,145	15,564
抽出校数	90	3,730	2,046	5,866
回答校数	15	821	443	1,279
回答率%	16.7%	22.0%	21.7%	21.8%

※回答率は、抽出校数に対する回答校数の割合

調査項目は次の通りである。

- (1) 来訪国・地域 (2) 来訪月 (3) 日本滞在日数
- (4) ～ (6) 来訪生徒数・来訪引率教員数・合計人数 (7) 来訪校の宿泊市町村
- (8) 来訪校の見学・交流市町村 (9) 受け入れ対応内容 (10) 交流費用
- (11) 費用の支出元 (12) 学校が支出の場合の支出元 (13) 学校間交流の具体的内容
- (14) 学校間交流における通訳の手配 (15) 受け入れ要請がどこからあったか
- (16) 訪日教育旅行受け入れ実施に当たっての課題や問題点

当調査の対象とした「訪日教育旅行」の定義は、以下の通りである。

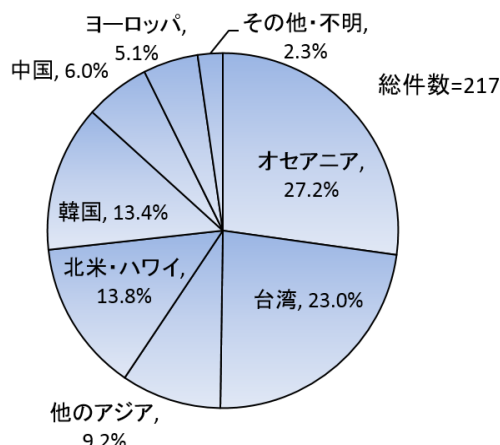
- ・主として、学校単位で引率者が引率し、訪日する団体の旅行（個人は除く）
- ・原則として、日本の学校との学校間交流を実施

そのため、引率者がいない3名以下の回答については対象外とした。

ここではその一部を抜粋して紹介する。なお詳細については「教育旅行年報データブック 2017」をご覧ください。

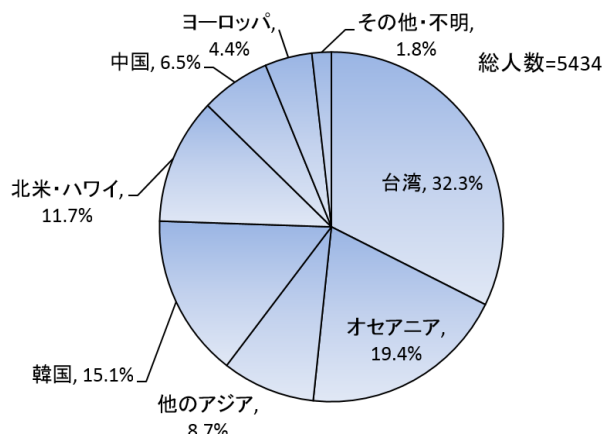
1. 国・地域別 訪日教育旅行数

国・地域別 訪日教育旅行件数（構成比）



※実施されたと報告された総件数を分母とした構成比

国・地域別 訪日教育旅行人数（構成比）



※実施されたと報告された総人数を分母とした構成比

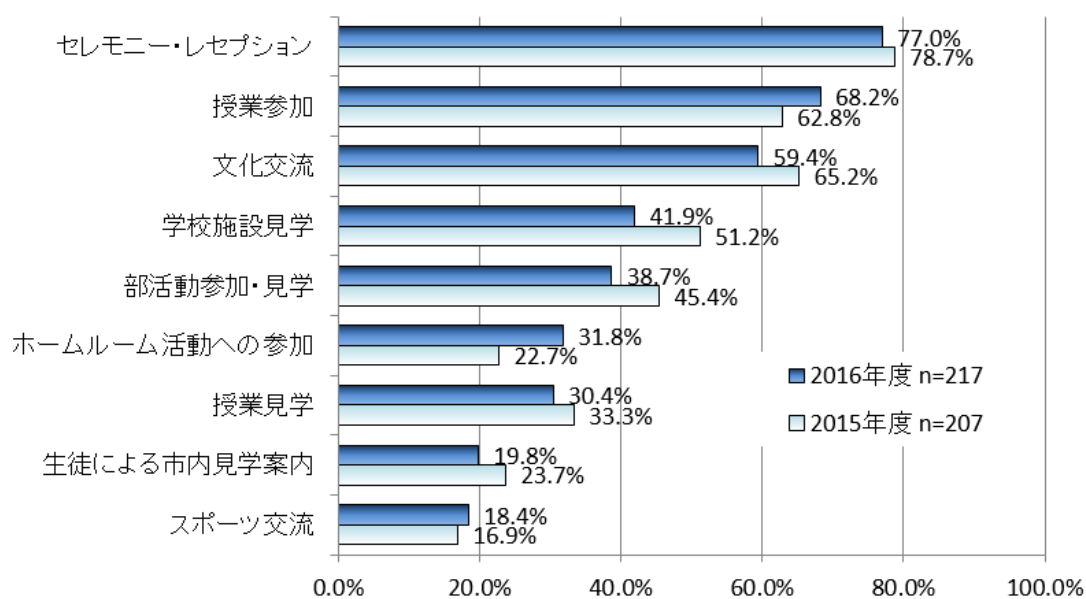
有効回答件数計 217 件は前年度（207 件）より増加、人数計 5,434 人も前年度 5,344 人より増加した。中ではオセアニアが、件数（前年 44 件→当年 59 件）、人数（前年 764 人→当年 1,052 人）共に、また北米・ハワイも同様に件数（前年 18 件→当年 30 件）、人数（前年 269 人→当年 635 人）共に大幅に伸びているのが目立つ。一方、人数では一番多いながら、台湾が件数（前年 58 件→当年 50 件）、人数（前年 2,332 人→当年 1,757 人）共に減少しているのが注目される。

国・地域別 月別訪日教育旅行数

国・地域	来訪月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中国	件数		1	1	1	2		1	2	1	1	2	1	13
	人数		35	23	15	43		34	63	33	33	69	7	355
韓国	件数	1	2	1	8			3	1	2	8	3		29
	人数	14	29	18	226			175	21	53	188	96		820
台湾	件数	2	15	2	6		1	3	4	6	3	8		50
	人数	90	511	61	201		34	103	94	199	73	391		1,757
他のアジア	件数	2	3	2			1	5	1	1		3	2	20
	人数	48	67	22			28	90	41	32		83	64	475
オセアニア	件数	10		4	5		24	3	4	3	6			59
	人数	213		95	105		418	31	59	37	94			1,052
北米・ハワイ	件数	2	2	12	1	2	1	1	2		4	3		30
	人数	56	28	153	25	180	12	6	47		48	80		635
ヨーロッパ	件数	1			2	1		5	1			1		11
	人数	17			65	8		109	20			22		241
その他 不明	件数				1		2	1				1		5
	人数				5		44	25				25		99
件数計		18	23	22	24	5	29	22	15	13	22	21	3	217
人数計		438	670	372	642	231	536	573	345	354	436	766	71	5,434
件数構成比		8.3%	10.6%	10.1%	11.1%	2.3%	13.4%	10.1%	6.9%	6.0%	10.1%	9.7%	1.4%	100.0%
人数構成比		8.1%	12.3%	6.8%	11.8%	4.3%	9.9%	10.5%	6.3%	6.5%	8.0%	14.1%	1.3%	100.0%
前年度人数構成比		12.1%	15.0%	12.9%	6.0%	0.3%	10.4%	12.8%	5.4%	7.5%	12.1%	4.3%	1.3%	100.0%

来訪月は、学年・学期のスケジュール、重要な試験の時期の違いなどにより訪問国毎に多い月が異なる。当該学年全員の参加が原則の日本の修学旅行と異なり、日本に関心を持つ希望者を募集したり、日本語学習者（クラス）単位で来訪したりがほとんどで、学校の休み時期に行うことが多い。例えばオセアニアの59件中24件が9月であるのは、オーストラリアやニュージーランドでは4学期制の3学期終了後の休みが9月下旬に始まることと関係している。

## 2. 学校訪問時の交流内容（複数回答）



※訪問件数を分母とした比率を表記

交流内容（複数回答）では、「セレモニー・レセプション」、「授業参加」と「文化交流」の三つは、半分以上のケースで実施されており、学校交流の中心的な内容であると言える。